

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 5年 3月 1日

公表: 令和5年 3月 15日

事業所名 あみぶらす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1	グループ活動により、部屋を使い分けています。	明確なグループ分けを行い、限られたスペースを有効利用していきます。
	2	職員の配置数は適切である	11	0	利用者2～3名に1名の配置を心掛けています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	6		必要によりスロープや手すりの設置を検討してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	0	日々の振り返りやミーティングを定期的に行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	困りごとを伺い対応しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	児童発達支援管理責任者を中心に、様子・支援の方向性を明確にするミーティングを行っています。	本人主体のワクワクする計画の作成を目指します。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	0	日々の利用者の状況を全員が把握できるようにしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	定期的にミーティングを開催しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	毎月のプログラム立案から実行しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	適切なグループ分けを行い活動に活かしています。	支援の方向性でグループ活動を行える視点を持ち日々の活動を心掛けていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	利用者の状況・把握ができるミーティングを行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	2	確認できるツールを使用し振り返りを行っています。	多角化視点で問題などを抽出できるよう目指していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	sst・ビジョントレーニングの様式を作成し実施しています。	日々の状況は記録にしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	適切な情報伝達を心掛けていきます。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	社長も参加した体制で行っています。	他事業所・他業種との連携の強化を目指していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	0		一部の学校において、協力して頂けない所がありますが、親御様と連携をする事で適切に行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	11	0	受け入れはしていません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	3 不明3		協力関係強化に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	11	0	相談支援事業所への伝達を行っています。	問題になりうる事を適切に抽出し、伝達できるように目指していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1 不明2	必要時行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	6 不明1		コロナ禍で最低限の関りしか行っていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	11		行えるよう努力していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	可能な関係機関への発信を行っています。	課題解決へ向け、関係機関含めた協力体制の確立を目指していきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	4		細部まで行き届いた指導を行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0		細部まで行き届いた指導を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0		細部まで行き届いた指導を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	11		コロナ禍で実施していません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	社長も参加した体制で、職員全体で連携を図りながら行っています。	
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	毎月発行しています。	より良い伝達が行えるよう努めていきます。
	35	個人情報に十分注意している	11	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	11		コロナ禍で実施していません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	3 不明1		周知徹底していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	月に一回、木曜日に実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	7		パート職員の方への対応を検討して参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11	0	利用規約に記載しております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0 不明2		保護者様からの情報に基づく対応を行っております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0		